

“オゴノリ”の増殖について

専門技術員 瀬底正武

本県の水産業は、沖合から沿岸へと転換しつつある中で、これまでの漁船漁業一辺倒から、にわか増養殖漁業を取り入れた漁業形態に変わりつつある。近代化された漁具漁法や科学装備等の開発には、めざましいものがある。しかしながら、その裏では確実に漁業資源の減少がめだち始めていると聞く。ある漁師は、「5～6年前までは、底延縄や立延縄の縄の長さは1,000m以内で十分採算の取れるだけの釣獲は可能であったが近年は、5,000m～10,000mも投縄しないことには、経営がなりたないという。」さらに魚体も小さくなったと聞く。このように延縄漁業ひとつとってみてもそこには厳しい現実があり、さらには刺網、定置網にいたっても時期的なこともあろうが、めっきりと魚が獲れなくなったと漁師はいう。

このような沿岸漁業の現状の中で必然的に漁業者がもててくるのが着業の組合せである。いわゆる単種の漁業種類から脱皮するための複数の着業の組合せである。その組合せは、漁業種類ごとの組合せがありまた近年は、モズク養殖を主にした着業の組合せが大半を占めてきたがその養殖の組合せだけでも漁家経営は大変苦しいようである。そこで考えられるのがヒトエグサ、オゴノリ、イバラノリ、クビレヅタ、ヒジキ、ウニ、サザエ、トコブシ、バイ等が上げられるが今回は、その中のオゴノリの増殖について述べてみたい。

1. オゴノリの増殖方法

オゴノリは、スギノリ目、オゴノリ科のオゴノリ属を代表する種である。現在増殖種として使用しているのはクビレオゴノリで方言では、「あらもーい」と呼ぶ。主に北部地域では「もーいどうふ」の原料として親しまれている。

〔増殖方法〕オゴノリは4月～6月にかけて嚢果が最も熟するようである。嚢果から放出された果胞子は直径20～28μmくらいの球形細胞である。胞子は日数が経過するごとに2細胞、多細胞に分割し3日～4日目には盤状体となる。盤状体には4細胞からなる成長点があり放出後20日～25日目には盤状体の成長点から糸状に柔細胞に伸長し直立体へと立ち上がる。(1983:瀬底)このようなサイクルを応用して天然の自生体の着生基盤になっているサンゴの死片などに果胞子を附着させ潮間帯の干出しない場所で移殖放流し増殖を図ることである。

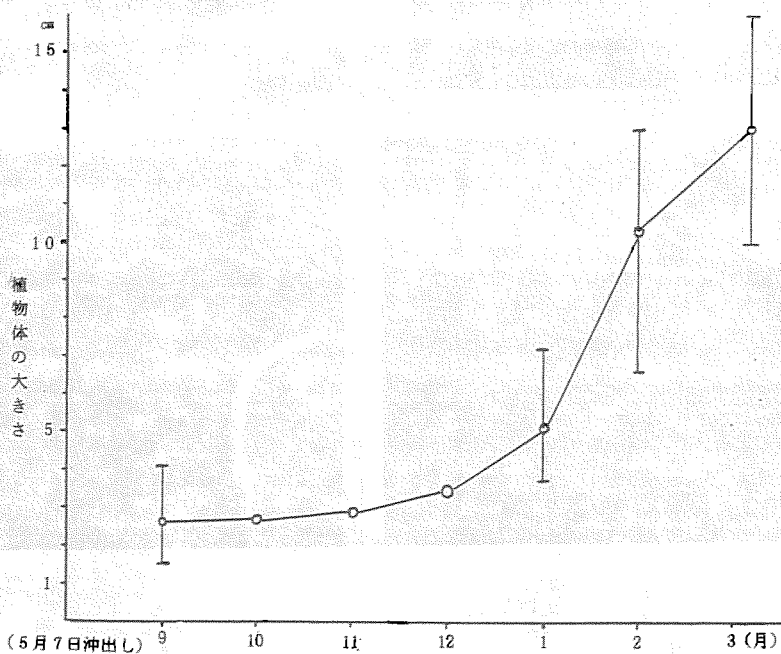
採苗は、タンクにサンゴの死片を敷きつめその上にオゴノリの母藻(嚢果を形成した藻体)を投入する。採苗期間中は、エアレーションをする。採苗期間は、7日～10日程度でその後は、あらかじめ選定した場所に移殖放流する。

2. 普及活動の一環としての漁協婦人部への対応

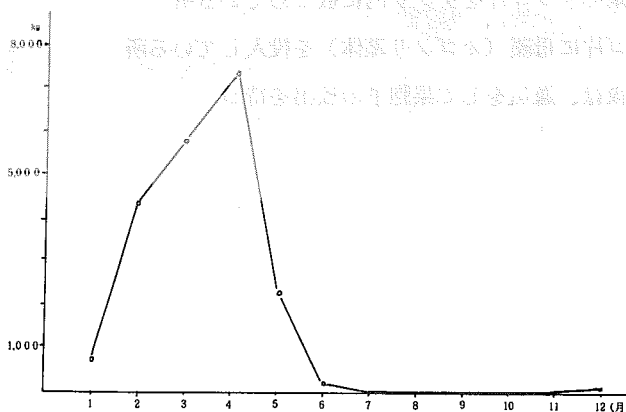
普及活動の一環として、漁協婦人部及び糸満漁協漁場管理委員会と密接な連携を取りつつ、増殖作業に当っては、附着基材として使用されるサンゴ死片のコレクターの採取から採苗、移殖放流及び管理にいたるまで漁協婦人部と一体に作業が展開された。沖出しされた種石(サンゴ片)

は1回目(4月15日)2,500コレクター、2回目(5月7日)同じく2,500コレクター合計5,000コレクターが移殖された。

このように、糸満漁協では、年々乱獲がたたって絶滅するのではないかという危機感から初まったことではあったが、漁協婦人部活動が鈍化しつつある中で、オゴノリの増殖作業をとおして、おたがいに目的意識が芽ばえてきたことと、これからの漁業は「トゥチャン漁業」だけではなく、「カーチャン」でも生産の一端をになうべく頑張らなくてはという、まさに普及活動で意図していた複合経営への第一歩をふみだしたことになるのではないのでしょうか。オゴノリが着業組合せの新品種として育てて行くことを願いつつ、漁業者が豊かになるためにも、地域特性を生かしたメニュー作りが急がれよう。



クビレオゴノリの生長 (1985~1986) コレクター採苗藻体



昭和59年度 オゴノリ水揚げ実績 (豊見城村役所調べ、一部改変)

オゴノリの採苗作業風景 - I (糸満漁協婦人部)



[写真説明]

- (1) 船上に水揚されたオゴノリを洗い、塩を洗い落とす作業
- (2) 採苗のため附着基のサンゴ片をタンク内に敷つめている所
- (3) タンク内のサンゴ片に母藻（オゴノリ藻体）を投入している所
- (4) 一連の作業終了後は、通気をして果胞子の放出を待つ

オゴノリの沖出し後の生育状況 - II

五箇年経過

五箇年経過
オゴノリの生育状況
沖出し後の生育状況
オゴノリの生育状況
沖出し後の生育状況
オゴノリの生育状況
沖出し後の生育状況
オゴノリの生育状況
沖出し後の生育状況



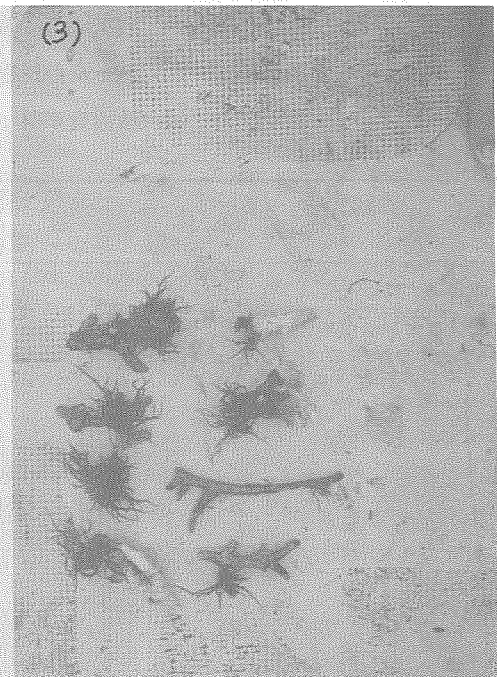
(1)

オゴノリの生育状況
沖出し後の生育状況
オゴノリの生育状況
沖出し後の生育状況
オゴノリの生育状況
沖出し後の生育状況
オゴノリの生育状況
沖出し後の生育状況

① 砂をかぶったコレクターからの発芽 (水中)



(2)



(3)

②、③ オゴノリの初期発芽体 主に「標式テグス」に密生する。